

習熟度別指導について

本校では、算数について習熟度別指導の実施を東京都教育委員会に申請し認められ、指導方法工夫加配として教員定数に加えて一人の教員が配置されています。実施に当たっては、東京都教育委員会作成の東京方式習熟度別指導ガイドラインを基にして以下の通り実施しています。



積み上げ型の教科では、基礎的な知識及び技能を身に付け、それらを活用しながら思考力、判断力、表現力等を育むことが大切です。

算数においては、知識及び技能の学習内容に焦点化して、全ての児童が基本からスタートし、スモールステップで完全習得を目指す習熟度別の指導を充実させていきます。



一人一人が確実にステップアップできる指導を目指します。

補充コースの児童が基本コースに、基本コースの児童が発展コースにと、学習を積み重ねることでステップアップできるような指導を目指します。、3～5年生は3学級4展開、6年生は2学級3展開とし、基本的に全ての時間で習熟度別指導を実施します。（学年担任+算数少人数指導教員で指導します。）

※ 本校では、補充を「ホップ」、基本を「ステップ」、発展を「ジャンプ」と呼んでいます。

★ホップコース…今学校でやっている学習をしっかりと理解できるようにするため、復習を含めて学習していきたいという人に向いています。

★ステップコース…今学校でやっている学習の反復練習をしながら、理解をより確かなものにしていきたいという人に向いています。

★ジャンプコース…今学校でやっている問題がマスターできていて、もう少し発展的な問題にも取り組んでみたいという人に向いています。

◆ 一人一人の学力を伸ばすため、コースに応じた課題や教材等を活用します。

コースに応じた課題や教材を活用することで、児童が意欲的に学習できるようにするとともに、確実に知識及び技能を身に付けさせます。

◆ 基本的な内容の習得を目指すとともに、発展的な内容も扱います。

どのコースも、各単元の基本的な内容の習得を目指すとともに、単元の内容や児童の理解の状況によっては、更に発展的な内容を扱うこともあります。

◆ 学習集団は、年間を通して固定化するものではありません。

年度当初や単元ごとに、レディネステスト等により児童の実態把握を的確に行い、単元の内容に応じた編成を行います。児童は、レディネステストを活用しどのコースで学習したいか希望し、教員は必要に応じてアドバイスをします。

※ 学習集団の編成に当たっては、以下の点に留意します

① 理解の程度や技能等の習熟の程度の違いに応じた学習集団を編成します。

- ・学習速度の違いや学習の仕方の違い、興味・関心の違いを考慮した学習集団の編成
- ・単元の内容等と効果的な指導の視点から検討し編成

② 児童の生活習慣や学習意欲、生活指導上の課題等についても考慮します。

算数少人数指導教員と学級担任で指導内容や教材等についてコミュニケーションをとり情報を共有して、学習進度を揃えながら児童が安心して楽しく学習に臨める体制で指導に当たっています。